

感染症情報 7月3日～9日

府下小児科194医療機関(堺市19)から

①ヘルパンギーナ	1,166例	(堺市 128例)
②感染性胃腸炎	634例	(堺市 37例)
③溶連菌感染症	424例	(堺市 59例)
④RSウイルス感染症	356例	(堺市 53例)
⑤咽頭結膜熱	161例	(堺市 14例)

府下296医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 223例(堺市 20例)

前週比10.6%減の2,936件の報告数であった。ヘルパンギーナは府下で16%減、堺市で133例→128例であった。定点あたりは府下が7.12→6.01で、堺市は7.00→6.74。感染性胃腸炎が府下で前週比12%減、堺市で前週44例→今回37例であった。溶連菌感染症が府下が8%減、堺市で前週54例→今回59例。RSウイルス感染症が府下で3%増、堺市で30例→53例であった。定点あたり大阪府が1.78→1.84、堺市が1.58→2.79。咽頭結膜熱が府下で1%減、堺市で前回21例→今回14例であった。

インフルエンザが府下で前週172例→223例で30%増、堺市で前週10例→今回20例であった。定点あたり大阪府は0.58→0.75、堺市で0.34→0.69であった。

府下296医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 2,330例(堺市 263例)
大阪府定点 7.87 堺市定点 9.07

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
71	160	214	430	249	255	244	268	149	149	141	2330

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,754例→今回2,330例で33%増、定点あたり5.93→7.87に、堺市は前週211例→今回263例で25%増、定点あたり7.28→9.07であった。大阪府下で堺市ブロックが定点あたり4週連続ワーストは免れたが、第3位ではある。

麻疹や風疹の報告はなかった。